

レムール

マダガスカルの不思議なサルたち

淡輪 俊 監修、宗近 功 編著



レムールとは、原猿と呼ばれるサルの仲間で、種によっては体毛色が雌雄で全く異なるなどの特徴がある。

その祖先はアフリカから渡来したキツネザルの仲間で、マダガスカルの環境に

適応進化してきたといわれる。現在90種にまでなったが、自然破壊が進む中で、絶滅危惧種に指定された種もある。

マダガスカルの自然研究の先駆者は、故近藤典生博士（1915-1997）である。東京農大名誉教授で進化生物学研究所を創設した博士の遺志を継いで、本書は、同研究所のスタッフらが分担執筆、レムールの生態、マダガスカルの自然などを豊富な写真で紹介している。監修の淡輪氏は同研究所理事長、編著の宗近氏は同主任研究員。

なお、東京農大「食と農」の博物館との一体施設である巨大温室「バイオリウム」で、マダガスカルの動植物を一般公開している。

（東京農大出版会 3,780円）

2009年版東京農業大学入試問題集

東京農業大学編



東京農大6学部21学科の入試問題を網羅（英語を除く）。回答付き。2010年度の入試に関する情報も掲載されている。304ページの中に受験生の闘いと喜びがある。

2007、2008年度版の完全入試問題集もある。

（東京農大出版会 定価1,050円）

情報心理

情報メディアと行動心理

小泉宣夫 監修、畠中伸敏、布広永示 編著



情報化社会の進展の中で、インターネット上の誹謗中傷やいじめなど、様々な問題が起きている。初等中等教育の段階で、情報社会に参画するための常識、マナーの習得が求められている。

東京情報大と千葉県立柏の葉高校は高大連携プログラムの一環として、共同で情報モラルを中心とする教育の実施指針について検討を重ねてきた。本書は、行動心理の面からの分析をもとに、諸問題の発生メカニズムを解明、その解決策を示唆している。情報モラルに関わる教員、父兄、情報を学ぶ学生には必読の一冊である。

監修、編著者はいずれも東京情報大教授。同大と柏の葉高校の教員が分担執筆した。

（日本文教出版 2,100円）

香りの科学と美学

藤森 嶺 編著



花や森、料理など、我々は様々な香りに囲まれて暮らしている。良い香りは幸せを感じさせ、心を豊かにしてくれる。

本書は、香りの持つ魅力や奥深さなどについて、食品や酒、香料など様々な分野の専門家がそれぞれの見地から分析し、分担執筆している。

日常生活の中で、香りについて漠然と感じていることでも、専門家の目を通してみると、意外な発見にたどり着くことも多いだろう。

専門用語なども多いことから、巻末に香りの辞典がある。監修者は東京農大客員教授。

（東京農大出版会 定価2,940円）